

第 1 問 答 案 用 紙

(経 営 学)

問題 1

問 1 ブランド拡張（カテゴリー拡張）

問 2 内的参照

問 3 E D L P

問 4 リベート

問 5 需要の価格弾力性とは、ある製品の価格が 1 % 変化した場合に、同製品の需要量が何 % 変化する
かを示すものである。

問題 2

問 1 組織文化（企業文化）

問 2 コンティンジェンシー

問 3 組織慣性

問 4 合併と買収の略

問 5 経営トップが組織文化の変革に向けて明確なビジョンを提示すること

第 2 問 答 案 用 紙<1>
(経 営 学)

問題 1

問 1

① 小さい	② 大きい	③ +1	④ 分散
⑤ 期待値	⑥ 0 (ゼロ)	⑦ 市場ポートフォリオ	⑧ 共分散

問 2

期待値	12 %	標準偏差	4.73 %
-----	------	------	--------

問 3

○×の記入欄 理由の記入欄

イ：	☐ ×	投資家は、レバレッジが高くリスクが高いポートフォリオに対し高い期待値を要求するリスク回避的投資家であり、リスク愛好的投資家ではない。
ロ：	☐ ×	安全資産についてショート・ポジションの投資家は、自己資金に加え借入資金も全て市場ポートフォリオに投資しており、その投資規模を拡大している。
ハ：	☐ ○	
ニ：	☐ ×	借入を行う投資家に対して貸付を行う投資家が存在しているのであるから、資金貸借市場の需給の一致まで考慮しているといえる。

問 4

提唱者名： トービン

定理の名前： 分離の定理

問 5

○×の記入欄 理由の記入欄

イ：	☐ ×	β はシステムティック・リスクに関するリスク概念であり、アンシステムティック・リスクとは連動しない。
ロ：	☐ ×	分散投資により低減できるのはアンシステムティック・リスクであり、システムティック・リスクは、分散投資によっても低減できない。
ハ：	☐ ○	
ニ：	☐ ×	市場ポートフォリオのアンシステムティック・リスクは限りなくゼロに近い値になるが、ちょうどゼロにはならない。

第 2 問 答 案 用 紙< 2 > (経 営 学)

問題 2

問 1

①	60,965	百万円
②	398,323	百万円
③	内部資金	④ 33,524 百万円
⑤	増資（新株発行）	⑥ 200,134 百万円
⑦	1.07	回
⑧	136.31	%
⑨	62.22	%
⑩	3.56	倍
⑪	1.16	ヶ月
⑫	3.98	ヶ月
⑬	237.7	円
⑭	19.35	倍
⑮	1.02	倍

問題 3

問 1

①	株価上昇確率0.48	②	株価下落確率0.52
③	900 万円	④	0 万円
⑤	400 万円	⑥	600 万円
⑦	10 %	⑧	50 %
⑨	12.5 %	⑩	112.5 %

問 2

⑪	0 万円	⑫	－600 万円
⑬	700 万円	⑭	600 万円
⑮	40 万円		